



日本遺産
JAPAN HERITAGE
糸部物語

由木中央小



令和7年6月30日
学校だより 第4号
八王子市立由木中央小学校

教育目標 「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school.ed.jp/yugce/>

校長 松山 大作

「なりたい自分」になるために

副校長 遠田 毅

本校の校歌は、昭和29年に制定されました。作詞を手がけた伊東文夫先生は、由木地域の文化にも深く関わり、「由木音頭」の作詞も行った方です。校歌には、「やがて日本を支える力」という一節があり、子どもたちが将来の日本を担う存在であるという、大きな期待と願いが込められています。

本校では、子どもたちが自分の将来について深く考え、「なりたい自分」を実現できるよう、キャリア教育に力を入れています。キャリア教育とは、子どもたちが社会の一員として自立し、自己実現を果たすために必要な能力や態度を育む教育です。各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動など、学校教育全体を通して取り組んでいます。

その取組の一つが、縦割り班による「由木っ子タイム」です。さらに、1年生が中心となって由木保育園の園児と交流したり、小中一貫教育の一環として、由木中学校の生徒が来校し本校の子どもたちと関わったりする機会もあります。

このような異年齢交流では、異なる背景や経験をもつ子どもたちが互いに関わることで、多様な価値観に触れることができます。下級生は上級生の姿から学び、上級生は下級生を思いやる心を育みます。また、そうした関わりを通して、自分の興味や適性について考えるきっかけにもなります。学校ではこのような異年齢交流を、子どもたちが将来や「なりたい自分」について考えるための、大切なキャリア教育の一環と捉えています。

また、子どもたちの学びの記録として、「キャリア・パスポート」を活用しています。これは、小学校入学から卒業までの間に、様々な活動や学びを通して得た経験や感じたこと、考えたことを記録していくノートです。自分の成長を振り返り、将来について考える大切な手がかりとなっています。学期の節目には、保護者の皆様からお子さんへの応援メッセージをご記入いただいています。「キャリア・パスポート」は中学校、さらには高等学校へも引き継がれ、子どもたちの成長の歩みを次のステージへとつなげていきます。

子どもたちが「なりたい自分」を見付け、将来に向かって前向きに歩んでいけるよう、ご家庭でも次のような取組をしていただけると幸いです。

◆ 自己理解を促す活動

お子さんが自分の「好きなこと」や「得意なこと」について考える時間を大切にしてください。絵を描いたり、家族で会話をしたりすることで、自分の興味や強みを発見するきっかけになります。

◆ 夢や興味について話す時間をつくる

将来やりたいことや興味のある分野について、自由に話せる時間を設けていただき、親子で夢を語り合うことは、お子さんの可能性を広げる大切な機会です。

◆ 家庭内での役割や責任を持たせる

掃除や料理、買い物などの家事を通じて、責任感や協力の大切さを学ぶことができます。これらの経験は、将来の社会生活にもつながっていきます。

◆ 身近な大人の仕事を紹介する

家族の仕事について話したり、実際に働く姿を見せたりすることで、働くことの意味や社会の中での役割を理解する助けになります。成長に合わせて職業についての会話を増やし、職業体験や見学の機会を設けるのも効果的です。

由木中央小学校は、今後ともご家庭との連携を深めながら、子どもたちが「なりたい自分」を実現し、未来を力強く生き抜くための力を育んで参ります。引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。